



第47号

2016年2月10日発行(平成28年)

佐渡 市議会だより

- 発行:佐渡市議会
- 責任者:根岸勇雄
- ◆編集:議会報編集特別委員会
- 〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地
- ☎(0259) 57-8133
- HP: https://www.city.sado.niigata.jp/c_council/index.html



赤泊正月マラソン (1月2日)



12月定例会

定例会の主な審議事項	2	決算審査特別委員会審査報告	14
一般質問 ココが聞きたい	4	議案等(審議結果)一覧	15
要望・意見に対する処理状況	11	議会のうごき・行政視察受入状況	16
委員会審査経過	12	編集後記	

5件、その他の議案25件を可決 会計決算は不認定

◆平成27年度一般会計補正予算を可決

一般会計予算に歳入歳出それぞれ2億4359万4000円を追加し、予算総額を464億2462万4000円とすることを認めました。主な審議事項は次のとおりです。

① 佐渡ふるさと島づくり寄附金事業（4738万3000円）

佐渡ふるさと寄附金（ふるさと納税）の拡充に伴う寄附金の増額及び返礼に係る経費を認めました。なお、総務文教常任委員会が、次の意見を付けました。

〔意見〕 より一層の増収につながるよう工夫ある施策を講じられたい。

併せて、地域イベントの財源として充当できるコースの新設等について検討されたい。

② 小・中学校体育館天井撤去事業（6025万円）

加茂小学校及び赤泊中学校の体育館天井撤去・改修に係る経費を認めました。

◆平成26年度決算認定に関する議案について

9月定例会で、継続審査となっていた、平成26年度決算認定に関する14件の議案について、一般会計については不認定、その他の会計については認定されました。

11月5日開催 第4回（11月）臨時会の主な審議事項

地方創生先行型の上乗せ交付金（タイプⅠ、タイプⅡ）を活用した事業にかかる経費を認めました。

○地方創生先行型上乗せタイプⅠの交付金を活用した事業（5,000万円）

- ・ 佐渡米品質向上支援事業（コシヒカリ1等米比率向上のため、色彩選別機導入費用を補助する。）
- ・ 冬期乗用車航送運賃割引支援事業（冬期間の航路利用促進のため、乗用車航送運賃を割り引く。）
- ・ 観光情報発信事業（観光ウェブサイトを再構築し、観光誘客の促進を図る。）

○地方創生先行型上乗せタイプⅡの交付金を活用した事業（1,000万円）

- ・ 子育て環境の充実モデル事業
（土曜日保育の延長（午後7時まで）をモデル的に4保育園、2児童クラブで実施する。）
- ・ グローバル人材育成事業
（佐渡の高校が実施する米カリフォルニア州の高校へ語学研修・文化交流する費用を補助する。）
- ・ U・Iターン者リフォーム支援事業
（佐渡への移住希望者のために、佐渡市空き家情報システムに登録された物件を購入または改修する費用を補助する。）

12月4日～22日開催

第5回(12月)定例会

● 条例案9件、予算案 ● 平成26年度一般

◆ 定例会の主な審議事項

① 佐渡市職員の行動規準及び責務等に関する条例の制定について

市民の信頼を得るための職員等の行動基準、市政を担う者の責務等を定めるため、新たに佐渡市職員の行動規準及び責務等に関する条例を制定しました。

② 佐渡市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について

平成28年4月から、相川地区の北田野浦火葬場及び小木地区の三香苑を廃止し、火葬場使用料を引き下げるため、佐渡市火葬場条例の一部を改正する条例を制定しました。

③ 指定管理者の指定について

公の施設の管理運営を行わせる指定管理者を次のとおり指定しました。

施設名	指定管理者	指定期間	所管委員会が付した意見
相川民話の館	北片辺集落	平成28年4月1日から 平成33年3月31日まで	[総務文教常任委員会] 本施設における事業は、当該条例により、地域に根付いている民話、芸能、歴史等を生かしながら行うものとされている。当該趣旨に沿った使用を心がけるよう努められたい。
佐和田森林公園 オートパークさわた	大佐渡トレッキング ガイド倶楽部	平成28年4月1日から 平成32年3月31日まで	

④ 旧両津東中学校解体工事請負契約の締結について

旧両津東中学校を解体する工事について、一般競争入札の結果に基づき、落札者と請負契約を締結することを認めました。 契約金額 2億4300万円

⑤ 畑野行政サービスセンター耐震補強・大規模改修(建築)工事請負契約の締結について

畑野行政サービスセンターの耐震補強と大規模改修工事について、指名競争入札の結果に基づき、落札者と請負契約を締結することを認めました。 契約金額 2億628万円

12月定例会においては、13人の議員が一般質問を行い、市政について質しました。
本コーナーでは、その要旨を、議員の寄稿により掲載しています。



一般質問



ココが聞きたい!!

- ◆ 金田 淳一 議員 4
県は佐渡汽船経営における責任を果たせ
- ◆ 山田 伸之 議員 5
子どもの教育・福祉の充実を求める
- ◆ 中村 良夫 議員 5
両津文化会館も両津病院も存続・充実を
- ◆ 笠井 正信 議員 6
地産地消について問う
- ◆ 大森 幸平 議員 6
佐渡市の借金は約一千億円、一人170万円
- ◆ 大澤 祐治郎 議員 7
市政マニフェストはどこまで実行できたのか
- ◆ 佐藤 孝 議員 7
公民館の整備支援事業予算は来年度に計上を
- ◆ 岩崎 隆寿 議員 8
「佐渡を世界遺産に」今後の予定は
- ◆ 中川 直美 議員 8
「政治・民主主義とは何だ」が市民の声
- ◆ 金光 英晴 議員 9
制定条例に魂を入れる
- ◆ 荒井 眞理 議員 9
重要な案件には第三者の客観性が必要
- ◆ 渡辺 慎一 議員 10
TPP大筋合意後の佐渡農業の可能性について
- ◆ 近藤 和義 議員 10
コメ政策を問う。佐渡米を皇室献上米に

県は佐渡汽船経営における責任を果たせ

一般質問

金田 淳一 議員



【質問】 貨物運賃問題のその後と、高速カーフェリーあかねの両津航路での運航と貨物輸送について問題点は、

【市長】 10月30日に佐渡汽船と島内13事業者の協議があり、段階的値上げの話があったようだ。

貨物について、12月3日にカーフェリーで積載に余裕がありながら水産物コンテナを積み残してしまった。幹部が謝罪し損害を補償すると聞いている。あかねの就航率は12月7日までで約64パーセントである。

【質問】 こんな不始末を容認できないし、そんな中で値上げなどんでもない。車両航送予約がいつも満杯だが、空予約が入っているのではないか。

【交通政策課長】 あかねの能力不足と波による積載制限が理由である。荷主の希望に

より次便の予約もしている。と報告があった。

【質問】 こんな運航体制では島民が一番迷惑を被る。欠航による経費負担増が無いようにするべきだ。

【交通政策課長】 旅客・航送・貨物すべてにおいて輸送計画、輸送体制を見直せと申し入れている。

【質問】 このままでは、ずっと被害を受け続ける心配がある。残念ながら離島振興や生活安定の立場から、新潟県の姿が見えて来ない。貨物問題でも民と民の問題であるなどとする姿勢は合点がいかない。例えば長崎県では平成23年から26年にかけて県が事業主体となつてフェリー等を6隻建造譲渡し、航路事業者の経営安定と運賃低廉化を進めている。ときわ丸は同じ制度により県でなく佐渡市が造つ

離島地域交流促進基盤強化事業により建造された船舶

就航年月	運航ルート	船舶名	総トン数	運航会社
H23年4月	長崎～福江島～中通島	フェリー万葉	1599t	九州商船
H24年4月	博多～志岐～対馬	フェリーきずな	1809t	九州郵船
H24年12月	長崎～福江島～中通島	フェリー 樺	1599t	九州商船
H26年3月	長崎～中通島(鯛の浦)	高速船びつくあーす		五島産業汽船
H26年6月	長崎～福江島	貨物フェリーさくら2		長崎汽船(協)
H26年7月	博多～中通島～福江島	フェリー太古	1900t	野母商船

長崎県平成26年度事業費(総額約32億円)